

令和2年度さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業 評価表

当日資料①

団体名(所管課名)

南箇「歌声・あおぞら会」

事業名

音楽といっしょに高齢者の居場所づくり事業

該当する所に○をつけてください

項目	評価の視点	評価			評価理由など
		よくできた	普通	できなかった	
1 事業の目的と目標の設定について	① 協働の「目的」を話し合い、お互いが同じ認識を持てたか、また、目標の設定は妥当であったか。		○		打ち合わせを通じ、同じ認識を持つことができました。
	② 目的及び目標を達成するため、お互いの役割を適切に定めることができたか。		○		
2 市民活動団体と担当所管課との相互理解	① 企画・立案について、お互いに情報を交換して合意のもとに進めたか。	○			事業内容の確認、出演者との打ち合わせ、市報や公民館館報掲載記事の打ち合わせ等十数回行いました。
	② 事業の進捗に合わせ、お互いに情報を交換しながら進めることができたか。	○			
	③ 対等な立場で意見交換ができ相互理解が図られたか。	○			
3 事業実施にあたって	① 事業を実施するためのお互いの組織体制は充分であったか。		○		事業の事前打ち合わせや準備、新型コロナウイルス感染症拡大による対面講座中止の対応についても連絡を取り、対応することができたと思います。経費についてはコンサート会場で使用する予定であった賃借料の一部を通信運搬費として計上した。
	② 事業実施にあたり、お互いの内部において十分に検討がなされていたか。	○			
	③ 事業経費は適切であったか。		○		
4 事業の成果について	① 当初の目的と目標は達成できたか。		○		新型コロナウイルス感染症拡大により当初予定していた事業を会場で開催することはできなかったが、講座資料等を送付することで地域の高齢者に向けて集いの場所があることを周知できました。
	② 多数の市民の参加があり、新たな市民活動が生まれるなど波及的効果により、市民活動が活発化したか。	判定不能			
5 協働の成果について	① 単独で事業を行うよりも、協働で進めたことで効果が得られたか。	○			公民館だよりや市報の掲載による広報効果は大きく、多くの方から講座申込の連絡がありました。
	② 事業の実施を通して新たなノウハウを獲得し、団体の活動の発展につながったか。	○			
★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由にお書きください。 (例) ・協働して感じたこと。 ・マッチングファンドの良い点、改善点など。	今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初予定していた事業の実施ができませんでした。しかし、イベントの募集開始日に募集定員まで予約の集まる事業もあり、地域住民のニーズや関心が高いことが感じられ、この事業が地域の高齢者にとって必要であることを強く感じました。また、対面での事業実施はできませんでしたが、事業に関する資料を送付することで、地域の高齢者に向けて集いの場所があることが周知できたと思います。1人でも多くの高齢者に地域に居場所があるということを知ってもらい、きっかけ作りができたと思います。「公民館だより」配布の広報効果、仕組みの定着について、再認識しました。公民館運営協議会、エリア自治会との関係の強さを実感しました。先般策定された「さいたま市公民館ビジョン」を実現するための取り組みにマッチングファンドが組み込まれることを積極的に推進されることを期待します。私たちの活動が、その「呼び水」となれば幸いに思います。				